

関東中学校ソフトテニス大会出場規定

関東中学校体育連盟ソフトテニス競技委員会

1 選手の服装

(1) ウェア

上は襟付き・半袖のスポーツシャツ，下は膝より上のパンツ・スカートを着用する（ただし，学校指定のものは着用可）。上記の服装から出るアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。（ただし，選手の体調その他で特別な配慮が必要な場合は，大会本部まで申し出る。）競技中，シャツの裾を外に出したり，袖をまくることはしない。また新たに文字を書き込まない。

(2) 靴 下

ソックスは白を基調としたもので，ハイソックスは認めない。見える部分が半分以上白，長さについてはくるぶしが隠れるものとする。

(3) 靴

白を基調としたテニスシューズを使用する。

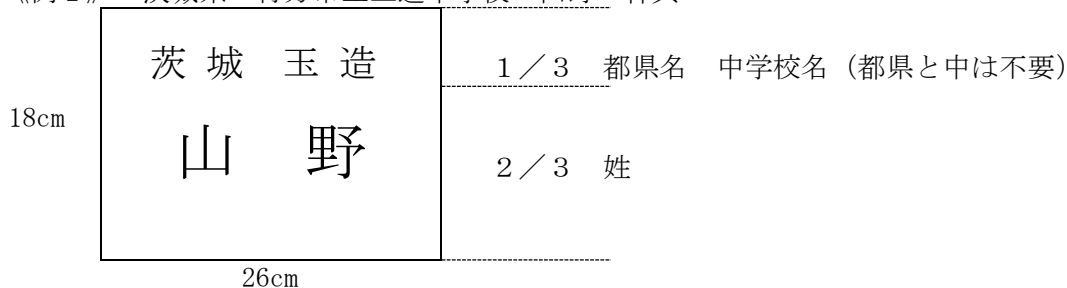
(4) ゼッケン

背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し，背中に4隅を縫いつけること。ただし，脱着しやすいようにホック・マジックテープ等で止めることは可とする。安全ピンは不可とする。すでにプリントされている文字は隠すように止め付けるものとする。

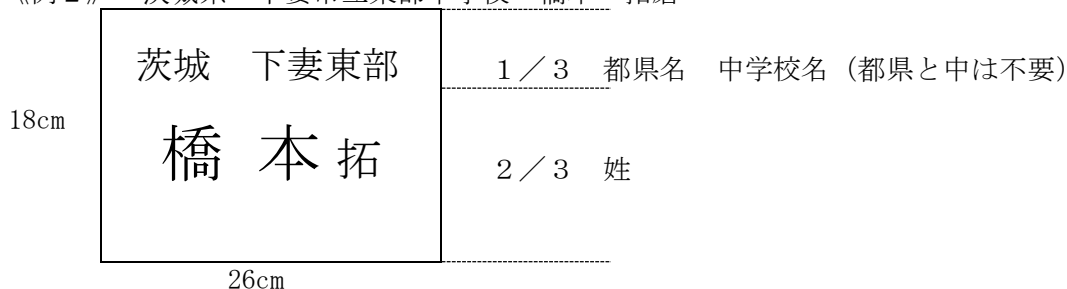
- ① ゼッケンはB5判横（白地）の大きさの布に都県名，学校名，姓を記述する。都県名の「都県」中学校の「中」の文字はつけないものとする。また，都県名と学校名の間は空白とする。
- ② ゼッケンの文字は「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し，文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。
- ③ 都県内で同名の中学校がある場合には，区別をするために工夫をしてもよい。都県ごとに望ましい表記をする。
- ④ ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし，同一校に同姓の選手がいる場合には，名前の一文字を付け加える。
- ⑤ 中学校名が，第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には，学校名をわかりやすくするために，《例2》のように学校所在地を付記してもよい。
- ⑥ ゼッケンは下記の例の通りのものとする

【選手のゼッケン】

《例1》 茨城県 行方市立玉造中学校 山野 幹典



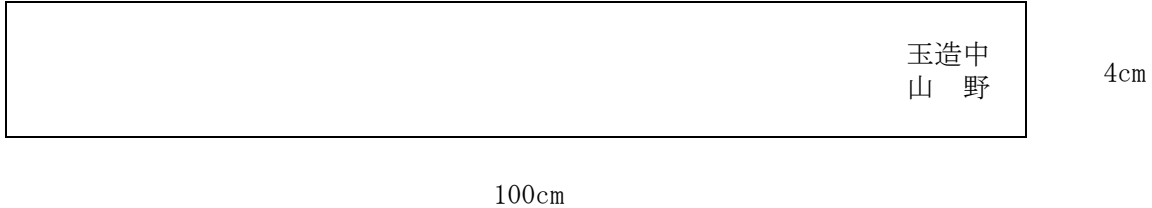
《例2》 茨城県 下妻市立東部中学校 橋本 拓磨



(5) 帽子・はちまき

- ① 色は白でなくてもよいが、蛍光色は禁止とする。
- ② 新たに文字を書き込まない。ただし、所有者を表示する場合のみ、例にならって学校名・氏名の記入、印刷を認める。
- ③ 帽子への学校名、氏名の記入は「はちまき」の記入例に準じる。

【「はちまき」の記入例】



(6) その他

- ① 所有者を表示する場合を除き、ウェア・用具類への文字や記号の書き込み、印刷、刺繍は禁止する。また、選手の腕等へのペイント・文字の書き込みは禁止する。
- ② 装飾品を身につけての出場は禁止する。また、健康器具も不可とする。

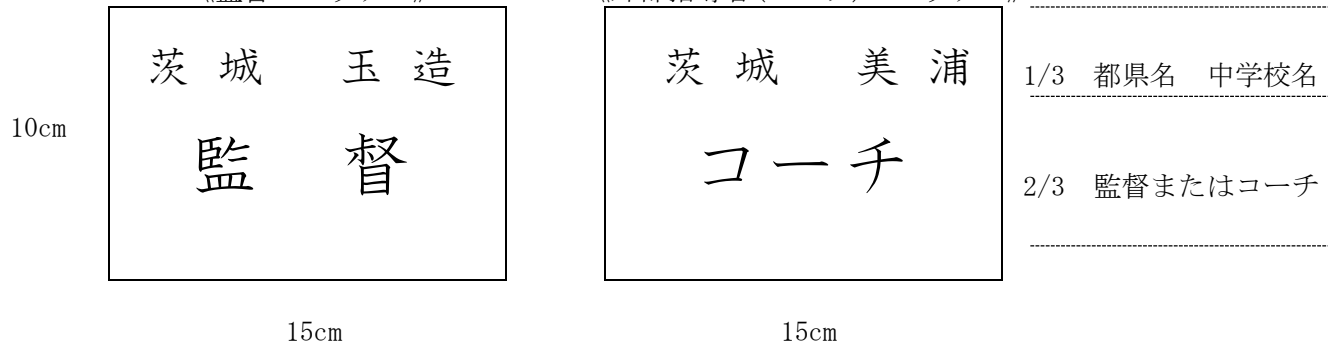
2 監督・外部指導者の服装

開・閉会式に出席する監督及びベンチ入りする監督・外部指導者は襟付き・半袖のスポーツシャツを着用し、必ず白を基調としたテニスシューズを履く。ゼッケンは都県名・学校名・監督またはコーチの入ったものをつける。大きさはハガキ大（15cm×10cm）で横長に使用し、胸につける。

【監督・外部指導者のゼッケンの例（布地・文字の色は特に指定しない）】

《監督のゼッケン》

《外部指導者(コーチ)のゼッケン》



3 選手の心得

- (1) 選手（監督・外部指導者を含む）はコート内では指定されたベンチに着席する。ウォーミングアップのために離れるのはよい。
- (2) プレーヤーの掛け声は、1～2回程度にとどめる。
- (3) 相手を威圧したり挑発したりするような態度はとらない。
- (4) 審判のコールの時には、発声を止める。
- (5) マッチの開始から終了まで、連続的にプレーする。

4 応援

- (1) 応援用の部旗・横断幕等は、大会事務局の指定の場所に設置する。
- (2) 応援はプレーの支障にならないよう、フェアな態度で行う。（相手を不快にする応援は禁止する。）
- (3) 集団での掛け声応援は、過度にならないようにする。（大会運営に支障のある応援はしない。）
- (4) コート外からコーチングと受け取られるような声かけはしない。
- (5) 日傘は白、グレー、シルバー、その他プレーに支障をきたす色は使用しない。

5 その他

上記大会の参加事項中での詳細については、関東中体連ソフトテニス競技部会の指示に従う。
以上、大会出場規定について違反した場合は、警告の対象となる。